

北区GIGAスクール構想通信

みらい

令和5年
5月号

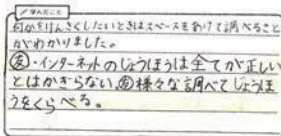
東京都北区教育委員会事務局教育振興部 学び未来課 (03-3908-9273)

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

第四岩淵小学校 3年総合「昔の暮らしについて調べよう」

「総合的な学習の時間」が始まる3年生では、探究活動に必要なインターネット検索による情報収集ができるスキルを身に付けます。授業では、実際に「きたコン」を使って、昔の遊びの人気ランキングを調べるためにはどんな言葉で検索するとよいのかを試しました。さらに、いくつかのランキングサイトを見比べると、順位にはいろいろあることが分かり、児童から、「インターネットだけでなく、本や新聞などいろいろなものでも調べることが大切だと思いました」という意見が出て、みんなの賛同を得ました。



梅木小学校 2年情報モラル「動画に熱中しすぎると…」

動画に夢中になった主人公が、友達関係や生活面、健康面で悪影響が出て困ってしまうアニメ教材を視聴した後、アニメではどんな問題が起きたか、なぜ問題が起きたのか、これから主人公はどうしたらよいかを個人で考え、グループで話し合いました。



そこで出た意見を基に、そうならないために自分だったらどうするかを考えました。児童からは、「動画を観る時間を自分で決めて守る。」、「大人に相談する。」、「宿題などを先にやる。」などが挙がりました。

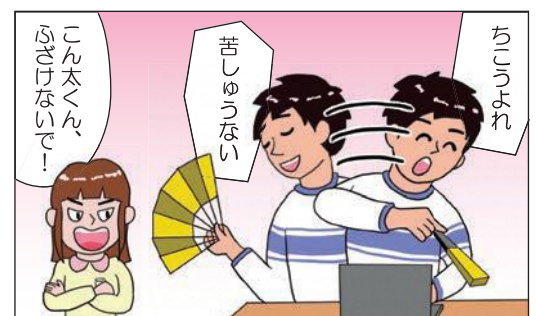
神谷中学校 2年総合「職場体験学習」

中学校2年生では、キャリア教育の一環として、実際に公共施設や企業、店舗などで働くことを体験する「職場体験」を行っています。生徒たちは体験から帰宅すると、テレビ会議システムの「Meets」で担任とつなぎ、映像と音声で報告をします。

「きたコン」以前は電話で報告していましたが、通話時間の都合上、簡単な報告しかできませんでした。「きたコン」の利活用で体験状況や健康面をその日のうちに確認でき、さらに翌日に生かすアドバイスもしています。

職場体験後は体験報告を全員で共有し、他の職場の様子を読んだり、友達に質問したりすることで、働くことの意義を学びました。

きたちゃんコンちゃん by Toshi



※故・志村けんさんのバカ殿のキャラクターイメージを引用しました。

情報を活かせば学びが変わる！ 情報活用能力の育成とは？

「情報活用能力」とは、学習活動においてインターネットや図書などの情報手段を使って情報を集め、集めた情報から必要な情報を選んだり、まとめた情報を分かりやすく表現・発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力です。情報モラルやプログラミングも情報活用能力に含まれます。

学習指導要領では、情報活用能力は「言語能力」、「問題発見・解決能力」と並び、すべての学習の基盤となる資質・能力のひとつとして示されています。それほど重要な力なのです。

そこで、北区では昨年度、情報活用の様々な活動を13の場面に整理分類し、発達段階に合わせた「きたコン場面別活用段階表」を作成しました。今年度は多くの実践例を各学校に紹介して、それぞれの学校が計画的に情報活用能力の育成を進められるようにします。

